

木津川市地域公共交通総合連携協議会 会議結果要旨

会議名	第34回木津川市地域公共交通総合連携協議会		
日時	平成28年12月5日(月) 午後2時00分～午後4時00分	場所	木津川市役所 第2北別館 2階会議室
出席者 (出席者…■) (欠席者…□)	委員	<p>【学識経験者】</p> <p>■中川 大委員(副会長)、 ■大庭 哲治委員</p> <p>【市民代表】</p> <p>■杉本 美保委員、 ■上野 明信委員、 ■占部 禎佑委員、 □福本 桂子委員、 ■神野 勝三郎委員、 ■大村 裕信委員、 ■平田 克子委員、 ■久保 恭子委員、 ■今西 邦雄委員、</p> <p>【事業者】</p> <p>□長澤 卓夫委員、 □森本 治実委員 ■後藤 秀雄委員 ※代理：米田 佳弘(奈良交通株式会社乗合事業部次長) ■津田 秀夫委員、 □近藤 智彦委員、 ■大江 正泰委員、 □梅田 幹夫委員、 □加藤 隆委員、 ■霜永 勝一委員 ※代理：橋 義之(奈良交通労働組合執行委員)</p> <p>【行政機関】</p> <p>■道久 聡委員、 ■菅沼 幸江委員 ※代理：森本 聡(国土交通省近畿地方整備局京都国道事務所調査課建設専門官)、 ■山本 勇人委員、 ■木寺 信男委員 ※代理：奥村 真一(京都府山城広域振興局建設部山城南土木事務所所長補佐)、 ■西村 基弘委員 ※代理：川田 貢(京都府木津警察書交通課交通総務係長) □河井 規子委員(会長) □田中 達男委員、 □若狭 朝明委員</p>	
	その他	<p>【オブザーバー】</p> <p>■安江 亮 ※代理：稲留 健一郎(国土交通省近畿運輸局交通政策部交通企画課専門官)</p>	
事務局	尾崎事務局次長、富井主任、藤木主事		
傍聴者	なし		
議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバス等の利用状況について【資料1】</p> <p>②木津川市の公共交通に係る利用促進について【資料2】</p> <p>③木津川市コミュニティバス路線等の検討について【資料3】</p> <p>(2) その他</p> <p>①次回協議会の開催日程について</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>		

<p>会議結果要旨</p>	<p>1. 開会 事務局より開会の宣言があった。</p> <p>2. 議事 議長から運営内規に基づき、会議録の署名委員として占部委員を指名した。</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバス等の利用状況について 資料1に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>②木津川市の公共交通に係る利用促進について 資料2に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>③木津川市コミュニティバス路線等の検討について 資料3に基づき、事務局から報告があり、確認した。</p> <p>(2) その他</p> <p>①次回協議会の日程について 後日通知することとした。</p> <p>②その他</p> <p>3. 閉会</p>
<p>会議経過要旨</p>	<p>1. 開会 会議結果要旨のとおり。</p> <p>2. 議事</p> <p>(1) 報告事項</p> <p>①木津川市コミュニティバス等の利用状況について 【配布資料】資料1 木津川市コミュニティバス利用実績 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)</p> <p>○利用者数が減っている要因の分析はしているのか。</p> <p>●きのつバスの利用者数は減少しているが、奈良交通路線バスの利用者数が増加しているため、公共交通全体の利用者数は減少していないと考えている。 木-2については、鹿背山地区などの人口減少により利用者が減少していると考えている。また、かもバス当尾線については、大型連休が少なかったことなどにより、利用者が減少している。やましるバス山城線については、イベントなどによる大口利用者が減少したため、利用者が減少していると考えている。</p> <p>○奈良交通路線バス高の原梅美台線の利用者について、昼と夜の内訳はあるか。</p> <p>●便毎のデータがないため、把握していない。</p> <p>○城山台地域には今後、商業施設が出来ると聞いているため、バスが必要である。</p> <p>●平成27年4月から奈良交通の城山台循環バスが運行しているため、ご利用いただきたい。</p>

○コミュニティバスに乗らない人が、どうすれば乗るようになるか検討していただきたい。

○分析内容を資料として準備していただきたい。

○コミュニティバスは目的地までを最短ルートで運行するのではなく、集落をまわって運行するもの。他の公共交通事業とうまく共存できるよう検討していただきたい。

○加茂駅と木津駅間の路線をつなげることは検討できないか。

●路線バス、鉄道等それぞれの公共交通の役割があり、公共交通全体で検討するものと考えている。本年7月に加茂駅の利用者が減少していることから、駅員体制の見直しをされたところであり、鉄道を守っていく観点から、現状の路線を継続したい。

○加茂地域の高齢者は、木津駅付近の病院へ行くことが多い。高齢者が利用するための施策も検討していただきたい。

○加茂駅から木津駅間には鉄道があり、本協議会は、鉄道事業を含め、市全体の公共交通について、協議する場である。JR西日本が欠席していることは遺憾である。事務局から、必ず出席する旨を伝えてほしい。

○高の原梅美台線の実態調査を6月にしている理由は。

●6月は比較的用户数が安定しているため、実態調査を実施された。

②木津川市の公共交通に係る利用促進について

【配布資料】資料2 公共交通の利用促進策について

【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

○公共交通だより100号の裏面について、奥畑線は土曜日、日曜日運行していないため、記載すべきではないか。

○公共交通だよりが100号をむかえ、市民に対し情報発信を継続して行っていることについて敬意を表す。今後は、情報発信の手法を工夫することが求められる。引き続き情報発信をお願いする。

公共交通事業者とどのように連携し、サービスを提供するのか、データに基づいた分析を行い、利用促進策を引き続き実施していただきたい。

○紅葉の季節だけでも、土曜日、日曜日の運行をしてはどうか。

高齢者の事故が増えてきており、高齢者のためのキャンペーンを実施してはどうか。

- 加茂駅と木津駅で1日フリー乗車券の販売はできないのか。
 - 1日フリー乗車券導入時に鉄道事業者へ相談したが、協力は得られなかった。

 - 運行時刻について、現状の時刻だと病院に行く時間に間に合わないなど不都合があるため、1便早い運行時刻にしていきたい。
 - 1日フリー乗車券を奈良交通の路線バスでも使用できるようにできないか。

 - 奈良交通の路線バスで1日フリー乗車券を使用するためには、運賃の関係上、1日フリー乗車券の料金を見直す必要がある。また、ICカード等により乗降場所を特定する必要があり、システム開発費用が必要である。
 - 利用者にとって利便性のいい公共交通にしていきたいため、事業者と協議を進めていく。

 - 敬老会など市の行事と連携して、コミュニティバスを体験していただき、周知することも必要ではないか。
 - 老人クラブとも連携しながら、イベントの実施について検討したい。

 - 公共交通だよりのカラー印刷は100号のみか。
 - 予算の都合上、100号のみである。

 - 高齢者の割引制度の検討はできないか。
 - 収支率50%を達成するため、現状の運賃体系を維持していきたい。

 - ③木津川市コミュニティバス路線等の検討について
 - 【配布資料】資料3 木津川市コミュニティバス路線等の検討について
 - 【主な意見・質疑等】(○…質疑・意見、●…質疑・意見に対する返答)

 - お試し乗車券などで一度体験してもらおう機会が必要ではないか。
 - 高齢者の免許返納者に1日フリー乗車券を贈呈している。他にもコミュニティバスを体験できるような取組みを検討していきたい。

 - 市からの赤字補填額はどのぐらいか。
 - 国の補助金等により多少増減するが、5千万円から6千万円程度負担している。

 - (3) その他
 - ①次回協議会の日程について
改めて通知させていただく。
 - ②その他
3. 閉会
- 以上。

その他 特記事項	なし。
-------------	-----